

---

# 空想者な俺の異世界記録

利瀬 時夜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

空想者な俺の異世界記録

### 【Nコード】

N8119Y

### 【作者名】

利瀬 時夜

### 【あらすじ】

『君は僕達側の人間だよ』 その言葉より始まり、終わった俺の物語。オイ自称神様、何でこんな規格外能力を俺に与えた？俺をどうしたいんだ？

へ？ いや、二度と帰れないのは解ってるけど……。  
しかし何でまたこんな規格外な能力を与えたんだか。  
嗚呼、俺は生き延びる事は出来るのだろうか？

こんな物騒克危険な世界で……。  
いやはや、最後に言いたい。

何て理不尽なんだろうね、ホントに

不定期更新、ストーリー重視です。

時折生々しい性描写が登場します。苦手な方は即座にバックブラウザ

『死ねない俺の異世界記録』の並行世界で巻き起こる物語。時折

すれ違うかもしれませんね。

同時並行に進めて行きます。時折偏る場合がありますが、ご了承ください。

## 登場人物紹介（随時更新）（前書き）

はい、どうも。

同時並行で更新する物語。

こちらは完全に主人公最強要素です。

それではどうぞ

## 登場人物紹介（随時更新）

〓 登場人物 〓

名前：瀧沢志紀 | Takizawa Shiki |

年齢：18歳

性別：男

職業：高校生

身長：172センチ

体重：54キロ

血液：AB

通称：『空想者』  
クリエイター

容姿：黒髪黒眼黒縁眼鏡の元陸上部

体質：『幼女体質』

趣味：読書、惰眠、物造り、空想

台詞：『俺、男だし……、コノヤロー殺して差し上げましょうか？

嗚呼、そうなんだ』

能力：『空想具現化』  
デイドリーム・クリエイター

『空間転移』  
スペーシャル・メタスタイルズ

宝具：『零時計』  
リミッツィアゼロ・タイムリーパー

『主従関係』  
マスター・アンド・サーヴァンツ

『情報認識』  
カタグライズ・インフォルティオ

『流星千剣』  
サウンジド・ハイディ・ドラゲーン

神具：『許容許諾』  
コンセイト・ライセンシア

通常：『話術』

『巻き込まれ体質』

性格：己より小さな子に好かれ易い体質の持ち主な残念な高校生にして語り部。

空想した者を作れば（材料があれば）作ってしまうと言う一種の天才。

極度のドSで変態克鬼畜。しかし、自分の大切な物、大事な存在は命に変えても護ろうとする。

馬鹿克阿呆だが、実際優し過ぎて温過ぎている。

女顔な事と身長が小さい事がコンプレックスで言われるときしる。

神より受け渡された能力で宝具と神具を作ってしまった為に、神に『神にならないか?』と言われた存在でもある。

名前：エリシアⅡエルククール

年齢：16歳

性別：女性

職業：無職

通称：『エリー』

種族：『人間』ヒュニム

容姿：淡い銀混じりの桃色の長い髪に桃色の瞳

魔法：『フリジスタ・イーシニス氷結零度』

『ヴァイアント・タンシーマ疾風乱舞』

性格：村を救って欲しいの願いから召喚された志紀のメイドとなる存在。

志紀Ⅱ変態と認識しており、何れ志紀ロリコンと呼ぶ。

氷、風系統魔法を扱い、志紀に思いを寄せていたり居なかったり。

想いとは真逆の行動が生まれ、口よりも手が先に出してしまうらしい。

嫉妬深くヤキモチ焼きながら甘えん坊克本当は寂しがりだつたり。

名前：神様

年齢：不明

性別：男性

職業：創造神

通称：『みーくん』

容姿：淡い青色の長い髪に藍色の瞳の持ち主。

能力：『キウァン・ア・リハト・スキニツシオ受渡吐飲』

性格：志紀に能力を授け与え、神様にならないかと尋ねた張本人。

神様ながら携帯をつかいこなし、優しい為馬鹿にされ易い。

自称『最強』克『優秀』。

志紀唯一の情報提供者。

名前：ヒエナ<sup>ニ</sup>エーゲルアジャンスタ

年齢：14歳

性別：女性

職業：学生

種族：『アニシア獣人』

通称：『ヒナ』

魔法：『インテルファイア・ナティエリア自然干渉』

『トル・ア・サモン召喚』

性格：若干若手ながら天才的召喚師。

14歳で幼女ながらその腕は最強に位置する。

獣人族で、一度志紀と戦ったが歯も立たず敗北する。

14歳の誕生日の時に事件に巻き込まれ、人生を棒に振り掛

けた所を志紀に助けられる事から始まる。

名前：ザイツ<sup>ニ</sup>オールリアジイースター

年齢：50歳

性別：男性

職業：門番克庭師

種族：『ディーゴン龍人』

通称：『ザイツ』

魔法：『特に無し』

庭術：『三段本式』

性別：志紀に雇われた庭師克門番を務める男。

当代最強の剣士として有名だったが今では老いぼれの為誰も雇ってはくれなかった。

未だに腕は衰えておらず、その腕は志紀すら気を抜けば危険な程。

温厚克人当たり良い人物で、武器の製造も可能。

名前：イデア・リンスカットフォルド

年齢：17歳

性別：女性

職業：剣士

通称：『リン』

種族：『人間』

容姿：クリーム色の金髪で藍色の瞳を持っている

魔法：『特に無し』

剣術：『帝国流剣術』

『我流連式剣術』

性格：直情型馬鹿。志紀に弟子にしてくれる様に頼むが悉く断られている存在。

案外泣き脆く、脆弱。剣術一式を使用するも、何度も敗北の苦渋を味わっている。

リンスカットフォルド家と呼ばれる『伯爵家』の跡取り娘だったらしいが、現在逃亡中。

M体質持ちなのかどうなのか分からないが、志紀に罵倒されると頬を染める一面が見られる。

## 用語紹介（随時更新）

さてさて、それでは舞台説明に参りましょう。

〓ファイアデルフィア〓

通称『伝説発祥の地』と呼ばれる世界。

形が歪で、大陸全部を歩いて渡った場合、30年掛かると言う。

魔力が主力の世界で、魔力が無くなれば電気も水道も火もライフラインは全て停止する。

〓サスペアスタンツ〓

志紀の召喚された村の存在する西方大陸。

北が寒く、南が暖かいと言う日本に似た大陸でもある。

軍事国家が一番集中しており、覇権争いも激しいが、現在は沈静化しているらしい。

〓ルシア・ニア・アキスバスティア軍神戦争加入禁止法〓

ルシア？軍神？と呼ばれる国家を護る軍の神を戦争に加入させてはならないと言う法律。

国家同士で決定しており、軍神もまたその命に従い黙っている。

軍神は寿命が来ると誰かに受け継がせ、その能力を持たせ、国家を護らせる為に、国家が機器になれば動いてしまう癖があるらしい。

〓マスケルディア帝国〓

ファイアデルフィア東区に位置する場所に存在する軍事国家。覇権を狙っており、帝政制度を持つ。

エリシアの村を領土開発の為に破壊している国家でもある。

大陸支配と世界侵略を試みているらしい。

リジア〓ピーク〓マスケルディア王女を君主としている暴君国家で

もある。

〓ケファニステイア王国〓

マスケルディア帝国の隣国家で、絶え間ない戦争を行っている国家でもある。

物資供給を諸国家から受けており、現在停戦中。

近くに川が有る為、水産業が栄えている。

ケファニステイア騎士団と言えば『屈強』と言う事で有名。

〓カイスクラッド王国〓

ケファニステイア、マスケルディアに隣国する軍事国家。

同じく覇権を狙っており、独壇場での侵略作戦や、領土開拓せずとも領土を増やす方法等、策士な方法を考えている。

軍事兵器生産では国家の中でも上位に位置し、魔力を込めた弾丸を装填する魔銃を作り出した原点でもある。

物資補充、休憩場所の拠点として現在諸国家と同盟を結んでいる模様。

〓メスイース王国〓

マスケルディア帝国と現在冷戦中にある国家。

北部地方への侵略を目指し、軍事力を付けている。

大きな湖と、森林に覆われている為魔物侵入も恐れられているが、結界の影響で侵入は封じられている。

森林産業、水産業に栄えているが、裏市場では薬品や、奴隷等が売られている。

〓エルクリエンタ皇国〓

マシエニウオル？魔障壁？と呼ばれる結界を纏っており、戦争では負け無しと呼ば

れる南部地方を完全統一した軍事国家。

覇権争いの中では確実候補として見られており、兵器の数、兵士の

数、武器数ではマスケルディアに並ぶと言う。

ファイアナ<sup>II</sup> テイマ<sup>II</sup> エルクリエンタ王女を君主としたマスケルディア同様の女系暴君国家。

しかし暴君とは言え、其処まで激しくは無く、戦略も考え、必ず全大陸支配を狙う。

<sup>II</sup> エルピーウ半島<sup>II</sup>

魔物の大量の発生する地帯であり、無法地帯。

都市と言う都市は全て魔物の影響で没落している。

此処を志紀は領地とした。

<sup>II</sup> ヴァンティツク港町<sup>II</sup>

腕っ節の集まる港町であり、普段は漁業を主力に活動している。

解放軍として有名で、騎士にも負けぬ力を持つ者も居ると言う。

元々が海賊と言う者が多く、船乗りなら負けないと言う。

港町では主力は海賊と山賊の為、盗まれても文句は言えないらしい。

<sup>II</sup> 魔力<sup>II</sup>

ファイアデイルファイアの動力源とも言われる力。

詠唱<sup>スベル</sup>による発動を可能とし、それを魔法と呼ぶ。

自然界への干渉によって召喚や英霊による冥府召喚を可能とする。

<sup>II</sup> 詠唱<sup>スベル</sup><sup>II</sup>

長ければ長い程強力な文章。

実質この世界には幾干と言う詠唱と魔法が溢れているため、完全暗紀は不可能だと言う。

<sup>II</sup> 能力<sup>アヒリティア</sup><sup>II</sup>

魔法とは違った独自の業とも呼べる力。

志紀のはこれに当たる。

〓 解放軍 〓

奴隷や民主差別、人種差別貧困差別を受けている者の解放を願って作られた軍事組織。

最大4名パーティーでの出陣する。船での移動は禁止されている。理由としては船に打ち込まれば沈んで終わりだからだそうだ。

〓 魔銃 〓

魔力を弾丸代わりに装填して放つ事を可能とした物。

一発目は模擬弾で、当たってもペイントされるだけとなっている。戦争より対魔物の時に有効で、魔銃部隊は魔物討伐時、必ず編成される。

スカーレット・クロス

〓 紅十字 〓

解放軍の中でもトップの人間の集まる軍隊。

武器はそれぞれで違い、魔法の威力も相当な物。

頭首は？メイリオ〓ジエスタ〓スカーレット？と呼ばれる悪魔族の少女。

少女でも一撃で軍隊を葬る事を可能とする力の持ち主。

アシエハト・アハティオ

〓 黒夜鉄 〓

殺人集団。

奴隷を買い取り、壊してから魔物の餌にすると云う非道的行為を行う未だに指名手配されている集団。

頭首は？バティマールロイドギーシュ？と呼ばれる貴族のお坊ちやま。

## 第零話 召喚はチートと共に（前書き）

さてさて、第零話更新。

どうなるのでしょうか？

今回の物語は完全にカッとなって書いた物でしてね……。

温かい目で見えてやって下さい。

ではごっせ

## 第零話 召喚はチートと共に

「取り敢えず手っ取り早くレッスンワンだね。今から君を救援信号を送って来た村に飛ばすから、僕の上げた能力使って救っておいで？」

この言葉より始まり、  
この言葉で終わった、  
俺の理不尽な物語。

唐突過ぎたな……。  
ん、じゃあ少し時間を遡さかのぼろうか……？  
そう、あれは……数十分前の事。

俺は高校生だ。

誰が何と言おうと、何処にでも居る、普通で健全な男子高校生だ。  
特に目立って良い所も無いし、悪い所も無い。

強いて上げるのならば、カラオケが上手い程度。

自分で言うのも何だが、これでも最高得点は98なのだ。  
自慢して良いのか、しちや悪いのか分からない良い所だ。

そもそも良い悪いを決め付けてはいけないんだと俺は思

「現実逃避はそろそろ終わりにしてくれるかな？」

現実逃避とは失礼な。

俺は倫理的に良い悪いについてをこれを読んでくれている読者

諸君に伝えようと。

「メメタアな発言は止めて。取り敢えず戻っておいで、逃げ続けられると話し終わっちゃおう」

あ、はい、スイマセン。

尺が短いんですね、分かりますってこれもメタいな。状況を整理しよう。

現在俺は自室に備えられているベッドに寝転び、ふわふわと浮いている。

一種の無重力状態って言う奴だ。

何でこうなったのか、と言うと目の前でコホンとわざとらしく咳をした自称神様のせい。

「自称は余計。ふう……、でね、今から君を異世界に送ります」

まあ自称神様の言う事はスルーして、って出来るか!!

また俺現実逃避するよ?!

とまあ、小物臭のする発言は置いておいて、聞いてみよう。

「先生質問」

「何でしょう?」

「何で送られなきゃならないんですか」

返答によっては不貞寝してやる。

「助けを求められたからだよ」

「……誰から?」

「異世界の村から。救難信号さ」

既に布団を手に持っていたが、俺はその布団を置いて更に詰め寄って尋ねた。

「その救難信号って……、アンタ等神様が受けて救っちゃダメなのか？」

「僕達は世界を創って、生を与えるだけの存在だからね。手出しは出来ない」

手出し無用……、成程ね……、笑えない冗談だ。

「じゃあもう一つ聞くぞ、俺じゃなきゃ駄目なのか？」

別に俺じゃあなくても良いのなら俺よりもっと主人公らしい奴でも連れて行ってやってくれ。

その方がこの物語も味が出る。メタい？ 知るか。  
しかし、返って来た返答に俺は驚いた。

「君じゃなきゃ駄目だね。既に僕達神界本部は君の存在をこの世から無かった事にしてるし」

「何て事をしてくれちゃってるんですかねオイこらコノヤロー……！！」

これは酷い。理不尽過ぎるぞ。

てか既に無かった事になって、じゃあ俺もつ無き存在じゃん……。  
うわ、何か色々と痛いし辛いわ……。

「まあまあ、でもね、君はどちらかと言えば僕達側なんだよ？」

「は？ どう言う意味？」

自称側って？ 痛い子って事？ うわ何それ怖い。

「殴るよ？」

「スイマセン」

即座にスライディング土下座。

怖い、怖いよこの自称神様。

「自称は余計だつてば。まあ君はどちらかと言えば神様側の人間だつて事。だって異世界に行けば多分君、英雄になれるよ？」

「…………マジ？」

「マジ。でも一つ言うけど一度行ったら帰って来れないよ？」

「嘘…………、じゃあ行ったら行きつ放しつて事かよ？」

「そゆ事だね、でも向こうの世界じゃあ歳の取り方が違うからこの世界より長生き出来るよ」

「そう言う問題じゃあねえんだが…………、まあ詳しい話は後で聞こう」

仕方無い…………、俺じゃなきゃ駄目なんだつてさ、召喚されるの。

まあ既に存在無きこの世界で生きていても意味無いし、なら召喚

されて暴れて来ましようよ。

「行って、くれるかい？」

「嗚呼、どうせこの世界に居てもいつかお被いされて終わりそうだし」

「良かった……、嗚呼、因みに情報が欲しければ携帯の神様って奴に電話掛けてよね」

「案外便利だった!？」

「こそ、便利なので、君の能力何だけどね、これだよ」

こくこくと頷いてから自称神様は俺に歩み寄って来てから、肩に触れて発光。

同時に何かが入り込む様な感触を覚えた俺は背筋を震わせて「何を入れた？」と尋ねた。

「能力さ。君の能力は因みに？デイドリーム・クリエイター空想具現化？と？スベトシアル・メタスタイズ空間転移？」

「何その厨二要素満点な能力は」

「まあ聞いてよ。空想具現化は望む物、望む能力、望む武器全てを具現化する事は出来る。

空間移動は某東方スキマ妖怪のあの移動を考えてくれれば良いさ」

「完全チートじゃねえか!! 規格外規格外!!」

「まあ規格外で範疇外だけど、これ位ないと君じゃあ直ぐに終わっ

「ちやいそつじかないか」

「うっ……、それを言わないで欲しいな」

「つまりヘタレって事だろうよ……、遠回しに傷付けるなよな、辛いから。」

「さて、準備は完了。取り敢えず手っ取り早くレスンワンだね。今から君を救援信号を送って来た村に飛ばすから、僕の上げた能力使って救っておいで?」

「へ? でもどうやって行けば?」

「こつやってだよ」

「……What?」

刹那、俺の足元に今まであった硬い感触が突然無くなった。深淵に近い闇が俺の下には広がり、轟々唸りを上げている。

「ちよ、ま ……!」

「アディオス」

「こつづけんじゃねえド畜生……!」

こつして、俺の日常は呆気無く、音を立てる事すら許されずぶち壊されたのだった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8119y/>

---

空想者な俺の異世界記録

2011年11月24日02時51分発行